

学生一人ひとりの「なりたい自分」へ、大阪成蹊学園は徹底した個別サポートによる就職支援を行っています。就職内定率はここ数年目覚ましい高率を記録(2015年3月卒業生の全学平均99.1%)。特に大阪成蹊短期大学では幼児教育、調理、フードコーディネート、栄養、生活デザインの5分野で100%を達成しました。就職支援の現場に立つ学部、学科の担当教員に集まっていただき、日々の取り組みやこの時点での学生へのアドバイスなどを語ってもらいました。

出席者	
大阪成蹊大学	國方太司副学長・教授(マネジメント学部)
	根津武彦教授(芸術学部)
大阪成蹊短期大学	国枝よしみ副学長・教授(観光学科)
	松野陽教授(総合生活学科食物コース)
	谷口信子教授(総合生活学科栄養コース)
	伊東義輝講師(総合生活学科生活デザインコース)
司会	柘植誠子准教授(幼児教育学科)
	佐藤英夫 学校法人大阪成蹊学園 専務理事

國方副学長



佐藤専務理事



根津教授



佐藤 就職状況が好調な理由は何でしょう？ まずは、「生まれ変わったよう」と言っている芸術学部の根津教授からお話ください。

根津 教職員が個々の学生の現況など情報を共有しながらきめ細かくサポートしていることが、学生の姿勢にも反映してきていると感じます。芸術学部の場合、一般的な大学で見られる傾向として、在学中の就職活動にあまり積極的でなく、卒業後フリーターなどをしつつ社会との接点を探り中途採用で入るというケースが見受けられます。本学では「卒業してからではなく、その手前で考えてきちんと就職することが結局はプラスになる」という意識で学生と向き合っています。学生自身も「目標を持とう」というふうに変ってきています。またそれにどう対応するかが逆に教員の目標になってきています。

佐藤 芸術学部の先生方は、入学前から学生に寄り添うように指導しておられますね。次に、4年連続で就職率100%と快進撃の幼児教育学科の場合はいかがでしょうか？

柘植 ありがたいことに本学への求人数が多い(4～5倍)という理由もありますが、教員の意識改革の成果が大きいと思います。就職対策会議での内容を学科の教員全員で共有し意識を高め合い、学生に対する就職指導が的確に行われるようになった結果が現れてきていると思われる。

佐藤 さて、こちらも就職率100%を達成されている好調な食物コースの調理クラスとフードコーディネートクラス、栄養コースについてお聞かせください。

松野 大学の態勢と教員の指導がうまくリンクして、学生の空気が出来上がってきていると実感します。調理の分野は仕事のどこにやりがいを見出せるかが大切だと思います。「人に喜びを与えられる」仕事なので自分の思いや個性を料理で表現できる芸術的な側面もあることを伝えています。また、フードコーディネートクラスでは料理やお菓子、接客サービスや食空間の演出などを広く学べるので、活躍の場が広がることを就職でも活かしています。短期大学ならではの就職先が多く、それぞれのクラスで目標を持って進めるよう指導しています。

谷口 栄養コースについては、まず給食現場の委託化が進んだことが要因です。以前は小学校給食の栄養士は公務員であり狭き門だったのですが、最近は、給食会社に入ってから小学校の現場で働けるようになりました。社会で栄養士の役割は重要になっています。また校外実習をさせていただく段階からお世話になっている親密度の高い会社もあり、この春も栄養士職の約90%が給食会社就職しました。学生の意識も、せっかくがんばって勉強をして栄養士になれたのだから、資格を生かす仕事に就こうとする傾向が強くなっています。

佐藤 生活デザインコースでも素晴らしい成果が上がってい

未来の自分をイメージして

積極就活



全学平均内定率は驚異の99.1%
目標を見定め、共に乗り切ろう！

就活支援特別座談会

す。どんな工夫をされていますか？

伊東 アパレル業界は特殊な世界であり、まずはデザイナーと販売員の間にもさまざまな職種があることを知ってもらい、キャリアプランをはっきりさせることから始めています。道筋を示せば、どんどん自分で考え、夢を膨らませ、あとは主体的に動き出してくれます。そうした学生にクラスの中でトップランナーの役割を担ってもらおうと、よい雰囲気作りができます。面接の際の私服のコーディネートを細かくチェックするなど具体的なアドバイスを積み重ねることで、意識が高まり、よい結果へとつながっていると感じます。また、個性の強い人の多い世界ですの

で、打たれ強さも身につけてもらうよう心がけています。

佐藤 アパレル分野は本学の場合、正規雇用での就職が増えて

いるのも注目すべき点ですね。伊東 しっかりしたキャリアプランを持たせるようにした成果だと思っています。現実はどうです

よとはっきり示すことで、学生自身が考えを深め、それなら正規雇用でという意識を持って就職活動に臨んでいるようです。

佐藤 学部、学科で特に力を入れておられることがあれば教えてください。

國方 マネジメント学部では学生時代にまず社会との接点を見

国枝副学長



谷口教授



松野教授



柘植准教授



伊東講師



つけ、将来像について具体的なイメージをつかむようアドバイスします。さらにそのイメージ

を言葉に置き換えることで定着させるというプロセスの中で、適切なサポートをするのが教員の重要な役割です。また、マネジメント学部には留学生も多く、個々の本国での事情や希望を考慮した対応にも努めています。

国枝 観光学科の守備範囲は広く、旅行、ホテル、運輸(航空、鉄道、バス等)など業種によって雇用形態や

ビジネスモデルが違いますので、それぞれの仕組みをまず理解してもらいます。昨年度からはインターンシップにも力を入れています。また、観光業界を志して入って来た学生が途中で事務など他の職種に進路変更するケースもあり、それが可能なのは、やはり専門学校とは違う短期大学の良さだと思います。

佐藤 今後は数字だけでなく、さらに満足度を上げる支援を目指したいところです。その点ではいかがですか？

松野 調理では技術の習得が重要です。全員がモチベーションをどうキープし、力をつけられるよう指導するかが課題です。できるようになると意欲も湧き、就活についても意識が変わってき

ます。

国枝 就職戦線でもIT化の波があり、あふれるほどの情報が入ってきます。そのため、学生は、自分の知っている会社を受ける傾向にあります。しかし、社会には素晴らしい企業が数多くあるということに気づいて欲しいですね。

佐藤 最後に、現在就職活動中の学生にメッセージをお願いします。

國方 一人ひとり、ありのままの自分が魅力的であることにまず気づき、不安をコントロールできるようになってほしいですね。それが自信につながるはず

です。根津 社会の厳しさを感じていると思いますが、目標をしっかり据え、継続する力を持続してください。

柘植 具体的な目標を立てて一歩一歩段階的に進めていきましょう。そして、どのような保育者になるのか、目的をはっきり持つことが大切です。

伊東 就職活動は不安なことが多いと思いますが、いちばん大事なことはファッションが好きという気持ちです。私たち教員もフォローしますので一緒に頑張りましょう。

谷口 新卒で栄養士として働くことがキャリアとなります。「いま働くしかない」という強い意志を持ちましょう。

松野 料理は自分自身を高められる分野です。できることと知っていることを両立させ、人間力を高めて就活に臨んでほしいと思います。

国枝 決してあきらめないで。誰もが転んだり失敗したりして今があります。苦しくてもあきらめることなく、粘り強く頑張ると伝えたいです。

先輩からのメッセージ

中西 穂菜実さん

平成 26 年 3 月大阪成蹊短期大学観光学科卒業
近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社勤務



小さいころから家族でよく旅行に行っていたので旅行が好きになり、旅の楽しさをたくさんの人に伝えたいと考えて旅行業界を志望するようになりました。将来の仕事を考えた時、大阪成蹊短期大学に観光学科があることを知って進学を決めました。観

光学科では観光に関するさまざまなことを講義や実習を通して学び、今も大阪成蹊での経験が役に立っています。

現在は店頭販売による個人旅行の手配が主な担当業務ですが、旅行から帰られたお客様から「中西さんがいろいろとアドバイスしてくれたおかげで楽しい旅行でした」と言ってもらえたり、再び私に旅行の相談をしてくださったりしたときは「お客様と信頼関係を築くことができた」とやりがいを感じます。日本国内や海外の観光地についても広い範囲で知識を吸収し、いろんな地域への旅行のプランニングができるよう日々研鑽をしています。これからもお客様とのコミュニケーションを大切にして、たくさんの方

学校を通じて「好き」を繋げる仕事に就職

に旅行の魅力を知っていただきたいと思っています。

就職活動は決して平坦な道のりではありませんでした。周りの友人たちが先に就職が決まって焦ってしまい、不安になったときに就職部に相談に行きました。すると、「面接では自然体で、ありのままの自分を伝えたらいいですよ」とアドバイスをいただいてからはリラックスして面接に臨めるようになり、積極的に行動できるようになりました。観光学科の先生も「周りに流されず、あきらめずに頑張るなさい」と何度も励ましてくださいました。皆さんが親身になってサポートしてくださったおかげで、今の仕事に就くことができました。

現在就職活動中の皆さんも、いろいろな不安なことはあると思います。その不安を決してひとりでため込まず、先生や就職部に悩みを打ち明けてください。必ず親切に相談に乗ってくれて悩みを解決してくれます。自分が希望している仕事に決まるまで、焦らず、根気よく頑張ってください。



日本で働きたい留学生のための きめ細かい就職支援で高い評価

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学では、各学部・学科担当制によるきめ細かい個別サポートを行っており、さらに「留学生担当」を設けて本学留学生にマッチした求人の開拓・紹介、学生カウンセリングを実施しています。

また、本学と大阪府国際化戦略実行委員会・一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会と連携し、就職活動準備段階にある3年生の留学生を対象に

特別プログラムを実施しており、留学生が日本で就職活動をするにあたり、「日本企業が求める人材」「日本での就職活動におけるマナー」「日本の面接でのよくあるパターンと面接でのポイント」など、留意しておかなければならない重要なポイントについて実践を交えながら就職指導を行っています。

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学の留学生就職率は昨年3月卒業生が96.7%、

本年3月卒業生が96.4%と高い数字を維持しています。就職部のサポートにより留学生が就職に対する意識を高め、自ら目的を持って就職活動に取り組んだ結果が数字に現れています。

この結果、平成26年度日本語学校教育研究大会(一般財団法人日本語教育振興協会主催)実行委員会が実施した「日本留学アワード2014」において、大阪成蹊大学が実学教育の充実と留学生の就職率の高さが評価され、全国の日本語学校のアンケートにより「留学生に勧めたい進学先」として大学文科系・



西日本の部で入賞校の6校のうちの1校に選出されました。今後も更なる留学生への支援の充実を図ります。

第1回 学園内企業合同セミナーを開催 50社を招聘、企業・職種理解を深める



6月6日(土)に大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学の合同企画・運営による「学園内企業合同セミナー」を相川キャンパスにて

開催し、3大学合わせて約400名の学生が参加しました。同セミナーは大阪成蹊学園としての初めての試みで、多様な業界から50社を招聘し、学生に

とっては各会社・職種に対する理解を深めるよい機会となりました。セミナーに参加した学生からは「エントリーの幅を広げていこうと思った」「希望職種以外に新しい発見があったので参加してよかった」「業界知識の幅を広げることができた」「セミナーに参加してさらにやる気が湧いてきた」との声があり、参加企業からは「この時期にこれだけたくさんの学生と会う機会は少ないので非常によかった」「教員が会場に足を運んで学生にアドバイスする様子が他大学にはあまりない光景で新鮮だった」とのコメントがありました。当日は3大学合わせて30名の教員が参加して学

生の就職指導を行いました。学生は今後の就職活動に向けて、よりいっそう気を引き締めていました。



教員・就職部スタッフ協働で 就職活動のスタートダッシュを支援

就職部では各学部・学科ごとに就職部スタッフを配置し、各スタッフが担当学部・学科の学生の状況を把握する体制になっています。その中で就職サポートに欠かせないツールとなっているのが『就職活動進捗状況表』です。この表には在籍学生の氏名・希望進路・最新面談日・現在受験中の企業とその選考進捗状況など多くの情報を記載するようになっており、この表を見れば各学生の就職活動の

進み具合がひと目で分かるようになっていきます。この表をもとに就職部スタッフと各学部・学科の教員とが膝を突合せ、個々の学生についての情報共有を行っています。また、受験している企業の数や選考の進み具合などについても随時把握しているため、学生それぞれに合ったサポートを教員・就職部スタッフの双方からリアルタイムで行うことができます。このように、日々学生と接している教員と、

企業との接点豊富な就職部スタッフが連携し合うことで、学生の希望進路の実現がより確かなものとなっているのです。

就職活動で大切なのは「周到な準備」です。各学部・学科で「キャリア系科目」を設置しており、担当教員は各学科の学生に合わせたプログラムを立案・運営しています。この授業の中で就業意識を醸成し、履歴書の書き方や面接の仕方を学ぶことができます。さらに就職部では企業の説明会・選考が始まる半年ほど前から、各学部・学科担当スタッフが学生一人ひとりと就職部で

面談を行っていきます。そこで就職活動全体の流れやポイントを伝えたいうえで、一人ひとりと履歴書を作成していきます。本学の履歴書には「自己PR」「学生時代に力を入れたこと」などを記入する欄を設けており、就職部で面談を重ねながらこれらの項目を作り上げていく過程で、学生は自分自身に対する理解を深めていきます。このような教員と職員連携によるサポートのもと、学生達は周到な準備を整え、就職活動のスタートダッシュを切っていくのです。

▼就職活動進捗状況表

学籍番号	氏名	アドバイザー	面談日	希望業界	就職決定先	雇用形態	紹介日	進捗状況(1)	確認	進捗状況(2)	確認	進捗状況(3)	確認
〇〇〇	△△	●●	〇月〇日	商社	〇〇〇〇(株)	正規	〇月〇日	内定	〇月〇日				
〇〇〇	△△	●●	〇月〇日	旅行	(株)〇〇〇〇	正規	〇月〇日	二次通過	〇月〇日	最終受験済み・結果待ち	〇月〇日	内定報告	〇月〇日
〇〇〇	△△	●●	〇月〇日	飲食	〇〇〇〇(株)	正規	〇月〇日	企業説明会・グループワーク	〇月〇日	内定報告	〇月〇日		
〇〇〇	△△	●●	〇月〇日	スポーツ	(株)〇〇〇〇	正規	〇月〇日	内定報告	〇月〇日				
〇〇〇	△△	●●	〇月〇日	アパレル			〇月〇日	エントリー	〇月〇日				
〇〇〇	△△	●●	〇月〇日	金融			〇月〇日	第一次面接	〇月〇日	第二次面接	〇月〇日		